

■ 委員会の審査状況 ■

〈特別委員会〉

決算特別委員会

月 日 令和元年10月8日（火）～18日（金）、12月3日（火）

場 所 産業経済委員会室

（付託案件）

- 議案第84号「平成30年度鹿児島県歳入歳出決算について認定を求める件」
- 議案第88号「平成30年度鹿児島県工業用水道事業特別会計決算について認定を求める件」
- 議案第91号「平成30年度鹿児島県病院事業特別会計決算について認定を求める件」

（審査の経過及び結果）

令和元年第3回定例会に提案され、決算特別委員会付託後、閉会中の継続審査となっていた上記付託案件については、10月8日から18日までの8日間にわたり、各部局ごとに慎重な審査を行い、いずれも認定すべきものとした。

なお、議案第84号については、11月28日の本会議において、訂正の承認がなされたことを受けて、12月3日に再審査を行い、委員会として要請を行うことを確認した。

〈議会運営委員会〉

（令和元年10月25日）

協議に先立ち、第4回定例会に提出予定の議案について、総務部長から次のとおり説明があった。

- 令和元年第4回定例会を11月28日（木）に招集すること。
- 提案する議案は、現在のところ流動的であるが、予算及び条例改正等の議案が27件程度であること。

協議事項

1 令和元年第4回定例会について

（1）会期日程（案）が了承された。

（2）代表質問について

議会運営委員会申合せ事項が確認された。

（3）一般質問について

議会運営委員会申合せ事項が確認された。

（4）会議録署名議員について

〔 寿 はじめ
前 野 義 春

予 備 議 員

〔 たいら 行 雄
柳 誠 子

が確認された。

2 予算特別委員会の設置について

議会運営委員会申合せが確認され、今年度設置予定の予算特別委員会の委員定数については、24人又は25人とすること、委員の会派等別割り振りも含め、各会派等間で調整することが了承された。

なお、人選については、各会派等の結果を11月21日（木）までに事務局へ提出することとされた。

3 永年勤続議員表彰について

11月28日（木）の本会議終了後、議場にて表彰式を行うことが了承された。

4 次回委員会開催日時について

11月27日（水）午前10時から開催することとされた。

5 その他

(1) 決算議案の訂正について

委員長から、決算特別委員会において、平成30年度一般会計の決算の中で、地方自治法で禁じられている予算の流用があったことが判明し、総務部長から議案の訂正の説明があった。委員会での採決の結果、議案は認定すべきものとされたが、会議規則では議案を訂正しようとするときは議会の承認を要するとされていることから、この件に関して、今後の取扱いについて協議いただきたいとの発言があった。

総務部長から、令和元年第3回県議会定例会に提案している議案第84号「平成30年度鹿児島県歳入歳出決算について認定を求める件」に関して、民生費における流用について、一部誤った事務処理を行っていることが判明したため、改めて適切な事務処理を行った上で、お詫びの上、別紙のとおり訂正させていただきたいと考えているとの説明があった。

寺田委員から、県民の代弁者である議会として、とても看過できない内容であり、一応決算特別委員会で、結論は出てはいるものの、事の重大さに鑑み、今後のことについて、きちっとした対応をしていくべきとの意見が出された。

決算特別委員長である吉留委員から、決算特別委員会の運営について、事業そのものについて非常に瑕疵がある、問題である事業執行がなされたというというよりは、予算の事務手続きの取り扱いが地方自治法に違反しているということであったため、委員会で採決を行い、その後の取扱いについては、議会運営委員会で取扱いをすとの協議があったとの報告があり、取扱いについてご協議いただきたいとの発言があった。

委員長から、本議案と併せて監査委員事務局との関わり方及び既に開催している10月18日までの決算特別委員会との関わり方について、議長、議会事務局に引き取らせて取扱いを検討させる旨の発言があった。

副議長から、議案の訂正について、10月17日付けで知事から訂正依頼の文書が提出されているが、この訂正は、地方自治法に違反する事務処理であったという内容であったため、会議規則19条のとおり、議会で訂正の承認を得る必要があるが、委員会の日程やスケジュールの都合上、議運及び本会議を開催することができなかつたため、順番は前後するが、第4回定例会の開会日において議案の訂正を諮って、承認を得るという手続きをとりたいとの意見があり、委員に諮ったところ、その旨了承された。

(2) 知事のラグビー観戦等について

柳委員、小園委員及びたいら議員から知事のラグビー観戦や特別顧問等について、問題提起の発言があり、会派代表者会議等で議論することとされた。

(令和元年11月27日)

- 令和元年第4回定例会の会期日程等の協議に先立ち、総務部長から次のとおり説明があった。
- 第4回定例会に提案する議案は、予算及び条例改正等の議案が30件であること。

協議事項

1 議案第84号の訂正について

前回の議会運営委員会において、取扱いを検討することとしていた議案第84号の訂正と10月17日の決算特別委員会における採決との関係について、事務局から次のとおり説明があった。

10月17日の決算特別委員会では、執行部から議案の訂正の内容について、また、監査委員事務局から訂正を受けた後の監査委員への説明を含めた手続きの流れ等について説明があり、それに対する質疑が行われた。

決算特別委員会としては、議案が訂正されたものとして審査され、採決に移り、決算については認定すべきものとされており、このことは、閉会中であり本会議を開催する暇がない場合の議会運営上の便宜的手法として認められているところ。

吉留委員（決算特別委員長）から、事務局から説明があったことについて確認が必要であると思われるので、11月28日以降に決算特別委員会を開催したいと考えている旨発言があった。

協議の結果、議案第84号の訂正の取扱いについて、11月28日の本会議に上程すること、全会派等賛成であること、質疑・討論はないこと、採決方法は簡易採決であることが確認された。

2 11月28日の議事日程等について

議事日程が了承された。

3 議案等及び請願・陳情の賛否通告、討論通告等について

議会運営委員会申合せ事項が確認された。

4 予算特別委員会について

(1) 予算特別委員の委員定数、会派等別割り振り及び人選結果について

委員の定数及び会派等別割り振りの調整結果並びに今年度の予算特別委員の人選結果が確認された。

(2) 予算特別委員会の設置の議決日等について

予算特別委員会の設置及び委員の選任については、12月10日の本会議に諮ること、採決方法は、簡易採決とすることが決定された。

5 次回委員会開催日時について

12月17日（火）午後1時から開催することとされた。

6 その他

議長から、10月31日に福井県で開催された第164回全国都道府県議会議長会定例総会において、自治功労者として園田議員が在職10年表彰を受賞されたこと、表彰状及び記念品の伝達式を、第4回定例会開会中に議長室において行うことが報告された。